



プラネタリウム及び下記イベントのお問い合わせは、
手賀沼親水広場 水の館 TEL.04-7184-0555 / FAX.04-7185-5869

★定時上映

2026年1月24日(土)~4月19日(日)の土日祝

テーマ番組 「冬の風に吹かれて」

まだ寒い時期が続きますが、東からはもう春の星が昇ってきました。

人は星を見ながら、季節の変化を知ったことでしょう。星の名前は、はるか遠く昔の人と現代の私たちを繋ぎます。
この季節の星空に、人は何を見てきたのでしょうか？

星空解説「今夜、なにがみえるかな」

冬は一年でもっとも明るい星がたくさん見られる季節です。
空気が澄んで、星を楽しむのにぴったりの季節かもしれません。
親水広場から見える、明るい星をたどりながら、冬の星座を中心にお届けします。

脚本・演出：駒井仁南子 プログラム：佐藤幹哉

☆土日祝の 上映時間	テーマ番組 10:00~/13:00~/15:00~ 星空解説 11:00~/14:00~/16:00~ テーマ番組、星空解説ともに約20分
---------------	--

・定員：各回先着50名（上映1時間前から発券）

・費用：高校生以上100円（中学生以下無料）

☆平日のみ団体上映を受付（2日前までに要予約。ただし、休館日を除く）

☆春休みは平日も2回上映します 3月25日(水)~4月6日(月)

※水曜定休 星空解説 14:00~/テーマ番組 15:00~/

★星空たんけん観望会 ハイアマチュア望遠鏡 & 電視観望！

冬の星座と木星を見よう！

日時：2月21日(土)

17:30 受付開始
18:00~18:30 天文教室
18:30~19:30 星空観望会

費用：100円（中学生以下無料）

定員：50名（小学生以下保護者同伴）

申込：2月2日(月)~2月20日(金)まで

水の館 Tel 04-7184-0555



★星空コンサート

ピアノ&ボーカルユニット

CHITTA

星空コンサート

出演：CHITTA / 星空解説 駒井仁南子



日時：3月1日(日)

開演 ①13:00~ ②15:00~
※開演1時間前から3階事務室にて
発券開始

費用：300円

定員：50名

※当日の定時上映はありません

手賀沼周辺の イベント情報

水の館のプラネタリウム

水の館にあるプラネタリウムをご紹介しましょう。

そもそもプラネタリウムは今から100年ほど前にドイツで作られました。美しい星空を再現する機械は話題を呼び、世界各地で導入が進みます。1937年に大阪、1938年に東京で公開されました。戦後になると、日本のメーカーでも独自のプラネタリウムが開発されていきます。当時のプラネタリウムは光学式といって、電球から出る光をレンズを通してスクリーンに投影する方式でした。

そして近年、プロジェクターの性能が高くなつてみると、プロジェクターで星を映し出す、デジタル方式のプラネタリウムが開発されます。

ここ水の館には、この伝統的な光学式プラネタリウムと最新式のデジタルプラネタリウムの両方が導入されています。

デジタル式は、演出の幅が広く、使い勝手が良いため普段の番組上映で使われています。

一方、光学式プラネタリウムの特徴はなんと言つても、美しい星空です。大きな機械には長年培われた



光学技術の粋が詰まっています。ひとつひとつの星は恒星原板という板に刻まれた0.1mm以下という小さな穴を通して映し出されます。星空の背景は漆黒の闇。実際の夜空を見た感覚に、より近い環境を光学式プラネタリウムは再現できるのです。

水の館では、光学式プラネタリウムをCDコンサートなど、折々にイベントで活用しています。

美しい星空と多彩な演出を二つの方式で使い分けながら、水の館のプラネタリウムは運営されています。

※手賀沼周辺のイベントへのお問い合わせは手賀沼課 TEL 04-7185-1484へ

星空ガイド「今夜、なにがみえるかな」発行：我孫子市環境経済部 手賀沼課 〒270-1146 千葉県我孫子市高野山新田193 TEL.04-7185-1484 FAX.04-7185-5869

水の館プラネタリウムの番組と
我孫子で見られる星座の情報誌

我孫子で見られる星座の情報誌



©NASA

レモン彗星

レモン彗星の雄姿。2025年秋、日本でも見ることができました。

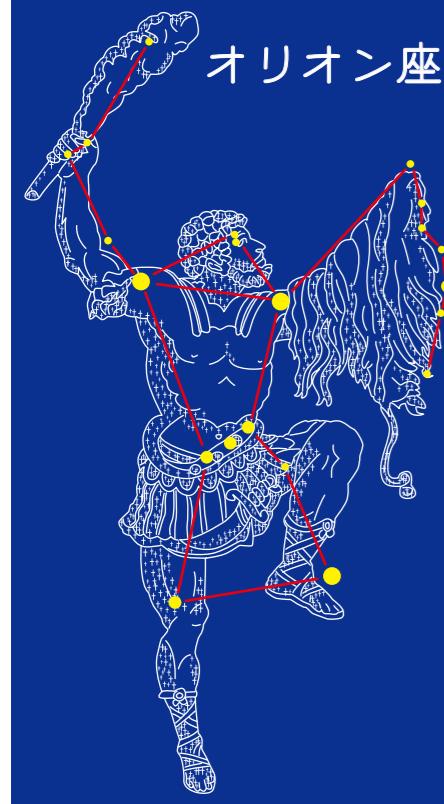
みんなはレモン彗星を見ることができたうな～？



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなきちさん

星座の物語～冬に見られる星座～

星座にはギリシャ神話の神々が多く登場します。冬の夜空に輝く獵人オリオンの雄姿は神々の世界を天上に見た、古の人々の想いが伝わってくるようです。そしてオリオンに従う獵犬、おおいぬ座とこいぬ座。天に描かれた絵画のような情景が楽しめます。



オリオン座

冬の夜空に堂々と輝く星座です。ギリシャ神話に登場する獵人オリオンを星座にしました。星の並びから星座の姿を想像しやすいのも特徴のひとつです。1等星はベテルギウスとリゲル。ベテルギウスは星の最末期、リゲルは誕生間もない星です。他に星のゆりかごとも表現されるメシエ42（オリオン座の大星雲）も見ることができます。

おおいぬ座

夜空で一番明るく輝く恒星「シリウス」はこのおおいぬ座の星です。星座の形もイメージしやすい星座です。オリオン座を見つけて、その左下に輝く明るい星がシリウス。シリウスを目に見立てると、犬の立ち姿が見えてくるでしょう。



こいぬ座

冬の夜空に燐然と輝く獵人オリオン。そのオリオンの獵犬として2匹の犬が描かれました。これがこいぬ座とおおいぬ座です。こいぬ座には明るい星は少ないのですが、おおいぬ座を目印に探してみましょう。

天文イベント

1月4日 しぶんぎ座流星群

4日未明から明け方の時間帯には、流星の流れる中心も高くなり見ごろとなるでしょう。月明かりの影響もなく、好条件のもとで観察できそうです。流星は、空全体に現れます。いつどこに出現するかも分かりませんので、なるべく空の広い範囲を見渡すようにしましょう。

1月7日及び3月2日 レグルス食

一等星のしし座のレグルスが月に隠される現象です。明るい星が月のすぐ近くに輝き、そして消える現象はなんとも神秘的な

印象を受けます。星空を移動していく月の動きを実感できる現象でもあります。

3月3日 皆既月食

皆既月食は19時前から部分食が始まり、20時頃から1時間程度皆既食となり、22時過ぎに部分食が終わります。皆既月食の始まりから終わりまで、とても良い条件で観望できます。皆既中は赤く淡く光る月と、星々を見ることができます。皆既中に木星やシリウス、さらには見ると長寿になるとと言われているカノープスも観望できます。

星空ギャラリー

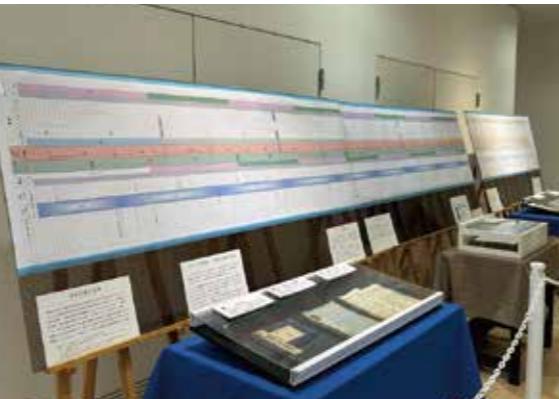
水の館プラネタリウムの入り口奥にある
番組テーマに沿った展示スペースです

2025年も天文現象が盛りだくさんでした。皆既月食や、いくつかの流星群も好条件です。そして季節の移ろいは天体の動きによって生じます。2026年の天文現象、二十四節気を中心とした季節と天体の関係を紹介します。また2025年に月面着陸に成功した日本の月探査機SLIMの模型も展示します。

「2026年、暦と天文現象の紹介」



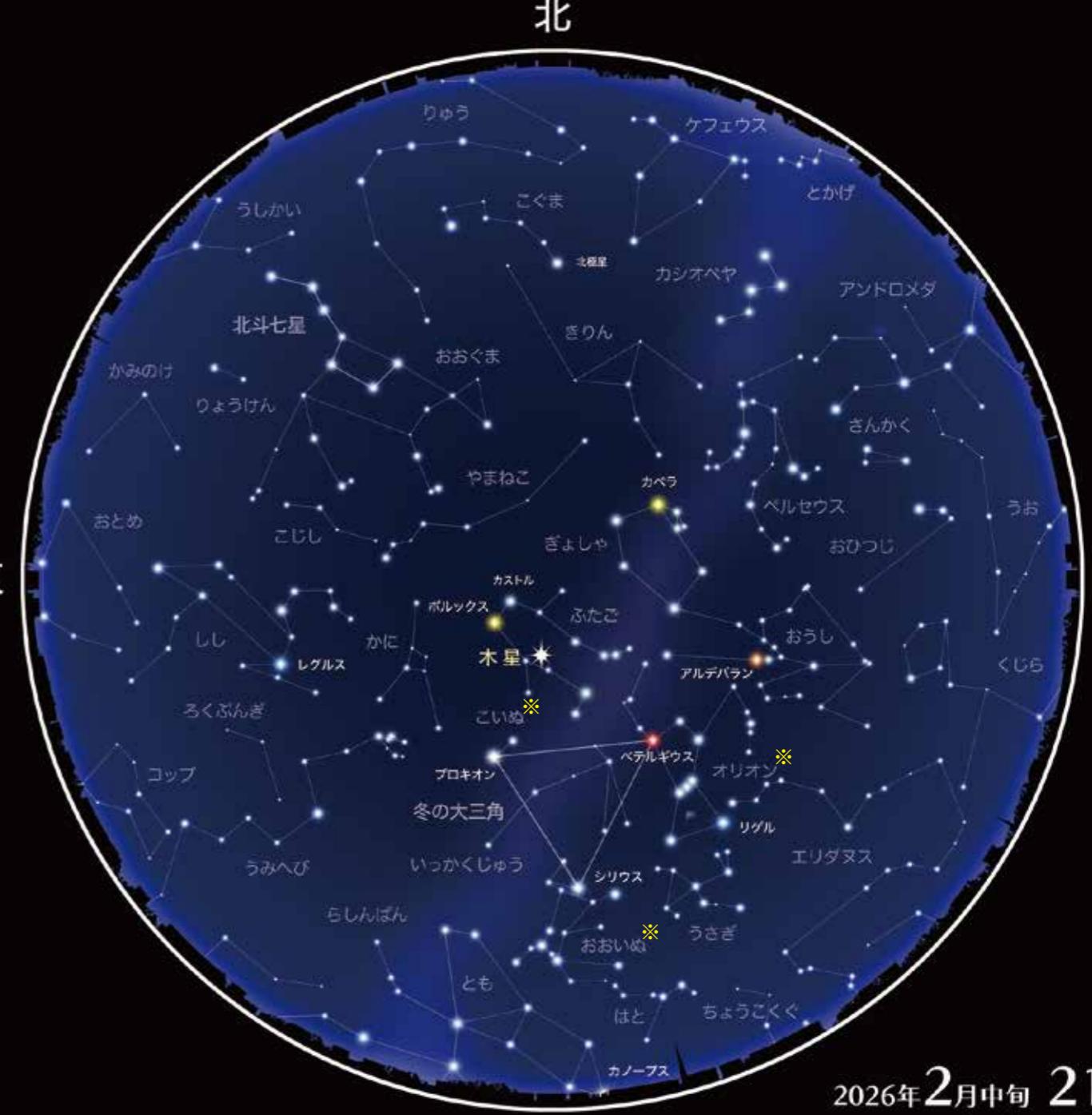
月探査機 SLIM 模型



展示イメージ

展示構成：株式会社きら

東



南

2026年2月中旬 21時頃
東京の星空

星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

天文
ニュース

レモン彗星が日本全国で見られる

彗星の名前は発見者の名前を付けるのが慣例です。以前はアマチュア観測家の発見も多く、池谷・関彗星など個人名が付けられていました。今は天文台の大型望遠鏡による発見が多く、レモン彗星も米国のレモン山天文台で発見された彗星です。

星空ミニクイズ

明るい星の多い冬の星空。特に明るい星を一等星と言い、肉眼で何とか見られる星を六等星と言います。
明るさはどれくらい違うでしょう。

- ① 100倍
- ② 6倍
- ③ 5倍

答えは水の館プラネタリウム入り口付近にあります

今号のスタンプ

スタンプは水の館プラネタリウム前にあります。